

2025年度 入学試験の日程一覧

入試区分			出願締切	試験日	合格発表日
学校推薦型選抜	系列校推薦	2期	2月13日(木)	2月20日(木)	2月27日(木)
総合型選抜	一般文化スポーツ資格 [※] 探究(経済・国際のみ)	4期	1月29日(水)	2月7日(金)	2月13日(木)
		5期	3月6日(木)	3月12日(水)	3月14日(金)
一般選抜	2教科方式外部試験利用方式 [※]	1期	1月23日(木)	2月3日(月)	2月7日(金)
		2期	1月23日(木)	2月4日(火)	2月7日(金)
		3期	2月17日(月)	2月21日(金)	2月27日(木)
大学入学共通テスト利用選抜	スタンダード方式英語外部試験利用方式 [※]	1期	1月23日(木)	本学での個別学力試験は実施しません。	2月14日(金)
		2期	2月17日(月)		2月27日(木)
		3期	3月7日(金)		3月17日(月)

※本学が指定する資格を取得している場合は、級数やスコアに応じて「みなし得点」に換算して評価します。対象となる学部や資格等については、『2025 入学試験要項』をご確認ください。

入学試験要項はこちら

入試日程や選抜方法、出願書類などの詳しい情報を掲載しています。



入試対策・過去問題はこちら

入試対策動画、総合型選抜や一般選抜の過去問題をホームページで公開中です。



情報マネジメント学部 特別相談会

【2025年4月新設】
情報マネジメント学部
特別相談会
 平日のナイトタイムや土日に実施！
詳細はこちら

情報マネジメント学部では、受験生および保護者の皆さまに向けて、特別相談会を開催しています。受験に関する疑問や不安を解消し、進路決定のお手伝いをさせていただきます。保護者の方もご同伴いただけますので、ぜひご参加ください。

平日ナイト相談会

12/25(水)までの各平日に開催します。時間は、曜日により異なります。

月曜・火曜・水曜：18:00～20:00
 木曜・金曜：16:30～20:00

土日相談会

土日に開催する相談会です。時間は、いずれも10:00～20:00です。

12月の開催日
 8日(日)、14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)

特別相談会の概要

相談会の概要は、ホームページをご覧ください。参加には、事前予約が必要です。



申し込みフォーム

ご希望の方は、申し込みフォームからお申し込みください。ご予約は3日前までをお願いします。



敬愛大学
 教育の敬愛
 創立100周年
<https://www.u-keiai.ac.jp/>

〒263-8588 千葉市稲毛区穴川1-5-21
 代 表：TEL.043-251-6363 FAX.043-251-6407
 アドミッションセンター：TEL.043-284-2486 FAX.043-284-2558
 (入試・オープンキャンパス問い合わせ) ☎ 0120-878-070 [フリーダイヤル]

X(旧Twitter) ID
 @u_keiai



Instagram ID
 @keiai_university



LINE ID
 051uxnpg



YouTube



敬愛大学の「現在進行形」を届ける広報誌『イング』

Vol. 19

WINTER 2024

ING



【特集】
私たちの大学4年間
 —入学から就職内定、これからについて—

Ak Insa

1 年次 将来像をイメージし 基礎を身につける

最も印象に残っている授業は「入門経済学」です。経済学とはどのような学問かを知り、経済学の考え方や様々な経済問題、社会問題を学びました。このほかに、「文章表現」や「口頭表現」、「情報概論」、「基礎演習（1年ゼミ）」などを履修して、アカデミック・スキルを学びました。1年次は、自分の将来像をイメージしながら、必要となる知識・スキルを身につけた時期でした。

2 年次 夢に近づくための 学びを進める

高校生の時から銀行員への夢を持っていたので、学科・コースの選択では迷わず経済学科の金融経済コースを選びました。学科の専門科目の勉強や正課外の金融研究会で、夢に近づくための学びを進めました。「金融論」や「国際金融論」では金融機関の役割を学び、「進路支援講座（日経新聞を読む）」では、専門紙の読み方だけでなく、自分の意見を表現して伝える力も磨きました。

▶ 銚子への釣り旅行



◀ 長野旅行のひとコマ



【特集】

Four Years at Keiai 私たちの大学4年間 —入学から就職内定、これからについて—

3 年次 実践で自分に磨きをかける

特に力を入れて取り組んだことは研究論文の執筆です。学内の懸賞論文に応募して銀行の合併が業績に与える影響を先輩と共同で研究しました。優秀賞をいただくことができ、自信が深まりました。1月から就職活動の準備を始め、銀行を中心に20社のインターンシップ（就業体験）に参加しました。3年次は、実践を通じて、これまで学んだ知識や経験を深めた時期だったと思います。

4 年次 結果を残し 卒業後の目標を定める

銀行5社から内定をいただくことができ、キャリアプランや地元への密着度などを考慮して、今の会社を選びました。銀行員になるという夢を実現できた喜びとともに、お世話になった先生方や両親への感謝の気持ちを深く感じました。現在は、銀行の業務に必要な証券や資産運用の資格を取得するための勉強をしています。支店長を目指して頑張りたいです。後悔のない4年間でした！

Column 経済学科で学びたい方へ

「金融経済」「公共経済」「現代経済」の3コースを用意しており、金融機関や公務員を目指す人を含め幅広い進路に対応しています。各コースで就職力を高める「進路支援講座」や実践的なフィールドワークを実施しています。「小論文コンテスト」や「卒論報告会」などの演習も豊富で、目標進路の実現に向けて実力を高めることができます。



地域の歴史遺産に関するフィールドワーク

1 年次 大学生活に慣れ 手探りで将来を考え始める

「入門経営学」で学んだ経営者の創業のストーリーや企業の組織に関する講義が興味深く、経営学への関心が芽生えました。高校教員を目指すことも考えていましたが、まずは幅広く進路を考えてみようと思いました。入学時は、大学生活に不安もありましたが、すぐに友人もでき順調なスタートが切れました。この時期は、迷いながら手探りで将来のことを考え始めた段階でした。

2 年次 行動+体験を通じて 経営の実際に触れる

経営学をもっと知りたいと思い、経営学科の経営戦略を研究するゼミに所属しました。専門科目が増えると同時に活動の範囲も広がり、行動と体験を通じて経営の実際に触れた時期でした。特にゼミは、各自で行う企業調査、発表や議論、企業からのゲスト講師の講話などがあり、とても活動的でした。2年次は、アクティブな授業が多く、学びが深まっているという実感がありました。

◀ゼミの仲間たちと
新1号館で記念写真



▶ 就活体験報告会で
先輩にアドバイス



3 年次 就職活動の方針を決める

自分の将来を決める大切な期間と考えて、就職の準備を開始しました。この時期に進路を教員から企業への就職に切り替え、様々な会社の情報を収集して7社のインターンシップに参加しました。実際に体験をすることで、仕事の内容だけでなく、働く人や組織の魅力、個性を知ることができました。業界を絞らずに、営業や企画などのやりたい仕事を中心に可能性を探りました。

4 年次 納得のできる進路を決定する

仕事の内容を軸に就職活動をしたことで、様々な業界の魅力を比較検討することができました。最終的に5つの業界から内定をいただき、その中の放送・通信業の1社を選びました。それまでの経験から、自分の目指すべき進路が少しずつ明確になり、納得できる結果に結びついたことは最高の成果です。大学には、体験を通じて自分を変えられるきっかけがあふれていました。

Column 経営学科で学びたい方へ

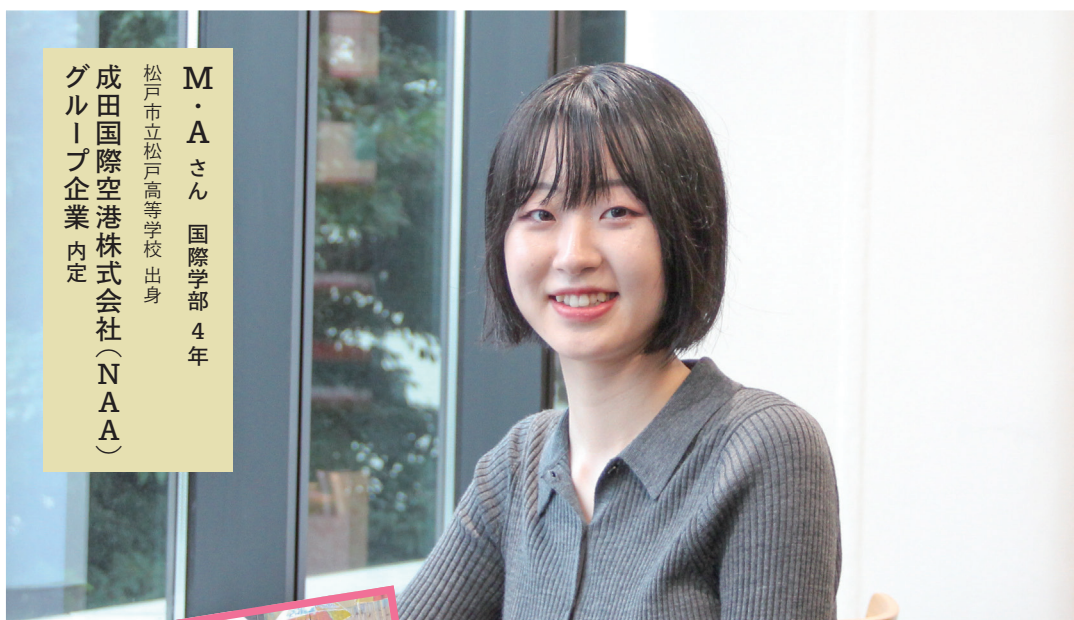
経営学科では、企業活動がより深く学べる「KEIAI起業体験プログラム」をスタートしました。学生が模擬会社を設立し株式を発行、実際の企業に商品を販売して決算を行い、会社の解散までを体験します。経営戦略や組織・人事、財務、マーケティングなどの重要な活動が、このプログラムで体験できます。実践性を重視した経営学科の学びの特長です。



「KEIAI 起業体験プログラム」の活動の様子

1 年次 目標の進路に必要な基礎力を身につける

小さな頃から家族と国内外を旅行する機会が多く、そこで体験した接客の魅力に惹かれました。特に、空港で働く人たちが、お客様のニーズに的確に応えるプロフェッショナルな姿に憧れ、空港関連企業で働きたいと思いました。1年次は、「College English」や「TOEIC 向上講座」などの科目で英語力を底上げし、「ホスピタリティ」や「空港ビジネス」などで将来に必要な基礎知識を学びました。



▼「敬愛フェスティバル」のダンスサークルの発表の前に



▲ゼミのメンバーと訪れた千葉公園の椿森コナにて



3 年次 視野を広げて自分の可能性を探る

入学時から目標は明確でしたが、自分の可能性を探るために学びの幅を広げました。その中でも大きな体験は、1か月間のカナダ（カルガリー大学）への語学研修でした。仕事で使えるレベルまで英語力を高めるとともに、慣れない環境での対応力を身につけました。「航空物流論」では、国際物流拠点としての成田国際空港の役割、物流と日常生活、様々な仕事との繋がりを学びました。

Column 国際学部で学びたい方へ

国際学部では、英語運用能力の向上に重点を置いたカリキュラムに加えて、空港ビジネス関連企業への就職を目指す専門性の高い授業やゼミを配置しています。英語コミュニケーションコースと国際ビジネスコースで、就職に向けた力を着実に高めます。「人間」「社会」への深い理解に基づいた国際的な教養を身につけるための教養科目も充実しています。

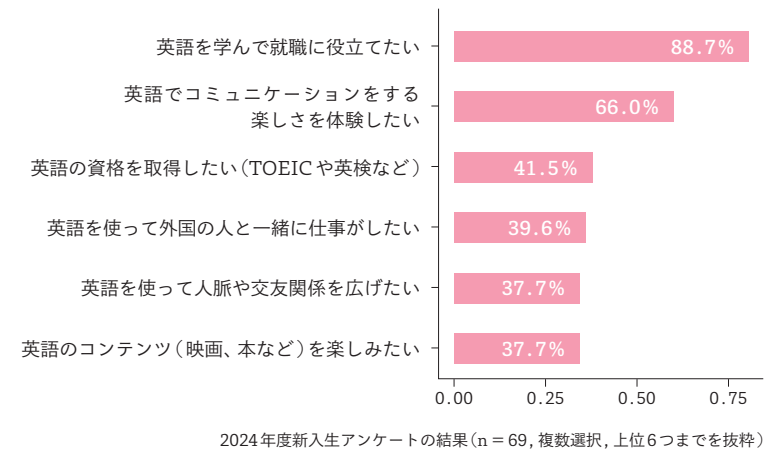
2 年次 実務的スキルと国際的視点を養う

2年次は、履修できる科目が増え、より専門的な学びができました。例えば、「ビジネス英語」では、お客様とのアポイントや会議、社交などの実際のビジネスシーンを想定した実用的な英語を学びました。また、国際関係や異文化理解を学ぶ科目、空港に関わる様々な産業について学ぶ科目があり、グローバルな視点や空港をとり巻く環境について理解を深めることができました。

国際学部で英語を学ぶ

国際学部1年生に「英語を学ぶ目的」を調査しました。「目的なし」と答えた人は0%で、多くの学生が高いモチベーションと多様な目的をもって学んでいることが分かりました。英語とどのように向き合えば英語力が向上するのかを、向後秀明教授に教えてもらいました。

英語を学ぶ目的



学生たちは、英語力を強みにして就職に活かしたいと考えています。英語によるコミュニケーションにも焦点を当てており、仕事や生活の様々な場面で英語を使う楽しさを実感したいようです。英語力の裏付けとして、TOEIC®や英検などの資格も重要視しており、就職活動でのアピールポイントとして活用したいと考えているようです。英語を使うことで広がる人との繋がりと趣味の充実にも関心があります。

国際学部の英語教育 6 つの強み

- 1 社会で求められる実践的な英語コミュニケーション能力を高められる。
- 2 習熟度別クラスで自分の英語力に応じて効率的に学習できる。
- 3 「聞く」「読む」「話す（やり取り）」「話す（発表）」「書く」をバランスよく修得できる。
- 4 英語の各技能に特化した授業で、さらに能力を高められる。
- 5 スマートフォンやPCを使って、いつでも英語学習（eラーニング）ができる。
- 6 「TOEIC L&R®夏期・春期対策講座」でスコアアップを目指す。

英語との向き合い方



向後 秀明 教授

専門分野 英語教育、英語科指導法、英語教育施策研究

英語教育界最高峰の賞とされる「パーマー賞」を受賞（2007年）。千葉県教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官を歴任。全国で教員研修や講演を行うほか、メディアにも多数出演。

英語に触れ、使う量を増やす

まず大切なのは、「日々、英語とどのように向き合っているか」「英語が使われる世界にどれくらい身を置いているか」ということです。英語に触れる量と実際に英語を使う量をできるだけ増やすため、授業だけでなく授業外でも、コミュニケーションで用いる言語は英語のみという環境で学ぶことも大切です。最初は戸惑うかもしれませんが、すぐに慣れて英語でやり取りすることが自然な状態になります。英語に対する抵抗感が和らげば上達も速く、就職に活かせる（仕事で使える）レベルまで十分に到達できます。

ミスを恐れずコミュニケーションを楽しむ

「英語でのコミュニケーションは楽しい」と感じてもらえるように、リラックスした雰囲気の中で、教員と学生、そして学生同士の英語によるやり取りを中心とした指導を心がけています。私が一方的に講義する場面はほとんどありません。外国語学習では何度も誤りや失敗を繰り返すことが次のステップにつながっていきます。「誤り無くして上達なし」です。学生には、“Love your mistakes. This is the place where you SHOULD make mistakes. Making mistakes is a passport to a new discovery.”と伝えています。授業では、毎回違ったメンバーと活動をして、クラスの全員とコミュニケーションを楽しめるよう工夫することで学生のニーズにも応えています。

英語教員を目指す皆さんへ

国際学部には、中学校・高等学校英語教員の希望者も多いです。このようなニーズに応えるため、2年次から教職や教科（英語科指導法など）に関する科目を開講しているほか、教員採用候補者選考の現役合格のための手厚いサポートも行っています。今年度の合格率は、80%（国際学部の受験者5名中4名が合格）となっています。

現役合格者の体験談

中学校・高等学校（英語）

国際学部 4年 S・Nさん
千葉県立東金高等学校 出身



中学生の頃からの夢だった英語教員の採用選考に合格しました。先生方や同じ目標を持つ友人に支えられ、現役合格することができました。国際学部の井上茂教授と英語教育研究会、教職センターの先生方からきめ細やかな指導があり、採用選考では緊張せずに実力を出し切ることができました。筆記試験や集団面接・集団討議、個人面接、英語の実技、模擬授業などの採用選考の各課題に対する具体的な対策方法を教えていただいたことが、大きな力になりました。英語教員には、英語以外の幅広い教養も必要と感じています。日本と外国の文化や習慣の違い、社会や歴史を深く学び、生徒が目を見て英語を学ぶ授業づくりができる教員になりたいです。

現役合格に向けた主なサポート

英語教育研究会

- 過去の出題傾向を分析したポイント解説と豊富な演習により、千葉県・千葉市教員採用候補者選考1次の筆記試験を突破する実力を身につけます。
- 英語5領域に特化したEnglish Campや夏期対策講座により、2次試験の模擬授業や英語によるインタビュー等に十分通用する英語指導力を身につけます。

教職センター

- 1次試験で課される集団討議の対策を実践的な演習形式でトレーニングし、討議テーマや教育時事問題への理解を深めます。
- 2次試験で課される個人面接の対策を行います。課題や弱点を克服し、自信を持って試験に挑めるよう準備します。
- 合格体験報告会を実施します。採用選考合格者の勉強法や試験への心構えを聴ける貴重な機会となっており、多くの学生のモチベーションアップに繋がっています。



空港の実務を学ぶフィールドワーク

1 年次 人の輪を広げる

私の理想の教師像は、「子どもたちと共に学び、成長できる先生」です。小学校の時の担任の先生が、学級運営のかたわら、職員室で参考書を読み努力する姿を見て、私もそのような先生になりたいと思いました。1年次は人の輪を広げる時期でした。特に1・2年生合同ゼミでは、表現劇やSDGsのポスター発表に取り組む中で、4年間の支えとなる仲間との繋がりが生まれました。



◀教育学部4年生で出店した大学祭

3 年次 教育現場や子どもたちをより深く知る

「ちば！教職たまごプロジェクト」*や教育実習などの学校体験活動が本格化して、学級運営や保護者への対応の実際、授業の実践、子ども一人ひとりへのサポートについて理解を深めました。教育実習の精錬授業では、1年生の「算数」を担当しました。子どもたちへの的確な指示の出し方や飽きさせない授業の工夫などが課題となり、もっと学びを深めたいという気持ちが生まれました。

※公立学校の教員を目指す大学生等を対象に、学校現場での体験を提供する教育プロジェクトです。（千葉県教育委員会・千葉市教育委員会主催）

Column 学生が作り上げる教育学部の伝統

教育学部には、学生が共に教え合い、学び合う伝統があります。学部の前身となる「地域こども教育専攻」から受け継がれてきました。近年では、授業でのグループワークや1・2年生合同ゼミなど、学生たちに繋がりが生まれるプログラムが強化され、ここで培われたチームワークが「皆で必ず合格するぞ」という気風を生み出す原動力になっています。

2 年次 実践力と対応力を高める

履修できる専門科目や学外の活動が増え、実践力と対応力を高める機会が一気に広がりました。各教科の指導法では、模擬授業を繰り返し行い、授業づくりを基礎から実践的に学びました。学校や福祉施設での体験活動、教育ボランティアサークルでの企画運営を通じて、子どもたちへの接し方や支援の在り方も学びました。大学の内外で多くの経験を重ねることで、成長を感じた時期でした。

▶友人たちとの栃木旅行



H. K さん 教育学部 4年 千葉県立白井高等学校 出身
千葉県・千葉市 小学校教員採用候補者選考 合格

4 年次 教員採用候補者選考の現役合格を勝ち取る

3年次に教員採用候補者選考の1次選考（筆記試験）に合格*したことで、1次選考の集団面接と2次選考の個人面接、模擬授業の対策に集中できました。大学の教採対策講座のおかげで、自信を持って臨むことができました。入学時から私を支えてくれた人の輪が合格への力になり、理想の教師像への気持ちも強まりました。子どもたちに寄り添い、一緒に成長できる教育者を目指します。

※千葉県・千葉市の小学校教員採用候補者選考では、所定の条件を満たせば大学3年次に1次選考の筆記試験（教職教養・専門教科）を受験することができます。



1・2年生合同ゼミでのポスター発表

“教育”を学ぶということ

「教育を学ぶ」ことは、教える技術を修得するだけでなく、子どもの発達や心理を理解し、子どもたちが成長できる環境を整える力を身につけることです。3つの観点から、その意味や可能性を考えてみましょう。

1. 授業づくり

「創造力」と「想像力」を育てる



土田 雄一 教授

専門分野 道徳教育、国際教育

これからの「不透明な時代」を生きる子どもたちには「創造力」と「想像力」が必要です。現在の「小学校学習指導要領」では「持続可能な社会の創り手」を育てることが求められています。指導する教員も授業を創る力や相手の気持ちがわかる想像力のある教員であることが大切です。それらの力を育てることをテーマに「こども学Ⅱ」では協働でトランプを活用した演習を開発したり、新聞紙で創作帽子を創ったりしています。また、「道徳指導法」では役割演技をしたり、思考ツールを活用したりしながら、他者への想像力を育むための授業をしています。これからの学校を創る教員になってほしいと願っています。

2. 子どもの心理

「出来ないこと」にも目を向けて



田中 未央 准教授

専門分野 認知心理学、発達心理学

発達心理学では、子どもが成長する過程で経験する心身の変化について学びます。発達という言葉からは、何か新しいことが出来るようになる…といった変化をイメージすることが多いでしょう。しかし、発達の過程では成長とともに出来なくなることもあります。これをネガティブに評価してしまいがちですが、発達心理学的観点からは「出来ないこと」にも意味があるのです。私が担当する発達心理学や教育心理学では、「出来ないこと」の意味についても学生と一緒に考えます。教師は多様な子ども達と関わる職業です。子どもの変化を肯定的に捉え、成長の証を見出せる教師になって欲しいと願っているからです。

3. 子どもを支える仕事

視野を広げ、得意を生かせるように



阿部 学 准教授

専門分野 教育方法、授業・教材づくり

いじめ予防教育で使うマンガ教材について研究しています。質の高い教材をつくるためには、編集者、マンガ家、声優とコラボが必要です。そうした方々は教育の専門家ではないのですが、ともに知恵を出し合います。このように、学校の外から教育に関わる仕事もたくさんあります。大学の授業では、そうした方々をゲストスピーカーとしてお招きし、視野を広げることもしています。学生がマンガ教材を創作する授業も行っています。その中で、シナリオを考えたり、絵を描いたりといった特技が生かされることもあります。大学での学びを通して視野を広げ、自分の得意なことを生かせるようになってください。

2025年度（2024年度実施）教員採用候補者選考の結果

小学校教員の現役合格者数47名（合格率95.9%）

小学校教員の採用候補者選考は、1次合格率100%、2次合格率95.9%、2次合格者数47名で、いずれも過去最高の結果となりました。入学当初から高い志をもって学業に取り組んできた学生一人ひとりの努力が、大きな成果となって実りました。合格者は、2025年4月に各自治体で正規教員として採用され、学校に着任します。

■ 2025年度（2024年度実施）小学校教員採用候補者選考の結果

	1次試験合格者	2次試験合格者
千葉県・千葉市	48名（100%）	46名（95.8%）
東京都	1名（100%）	1名（100%）
合計	49名（100%）	47名（95.9%）

※（ ）内は、志願者に対する合格率を表します。

学部長からのメッセージ

2024年度実施の千葉県・千葉市の小学校教員採用候補者選考では、既卒者22名も合格しています。面接と模擬授業は圧倒的な強みとなっており、千葉県教育委員会の任用担当者からも高い評価を受けています。4年間を通した教採対策だけでなく、普段の授業や教育活動において、教員としての実践的・実務的な資質・技能と、現代的教育課題や最新の教育行政施策への理解とを融合させた、本学部の教員養成のしくみが成果となっています。学生一人ひとりが、自分が思い描く理想の教師像と、そのために実行したい学級経営や授業実践の具体的な行動計画について、自分の言葉で語れることをめざしています。



教育学部長 伊坂 淳一 教授